

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	一般国道298号 東京外かく環状道路 (千葉県区間)	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局																								
起終点	自：千葉県松戸市小山地先 至：千葉県市川市高谷地先	延長	12.1 km																										
事業概要	<p>東京外かく環状道路（以下「外かん」）は、都心から半径約15kmの地域を環状に結ぶ全長約85kmの幹線道路である。外かんを整備し、都心から放射状に伸びる道路と連結することで、都心方向に集中する交通を適切に分散導入することができるため、首都圏の慢性的な交通渋滞緩和に大きな効果が期待できる。外かんの一部である「千葉県区間」は、沿線の松戸市、市川市内道路の混雑緩和、交通事故の減少、地域拠点間の連絡強化、防災機能向上、周辺地域の活性化を目的とした12.1kmの一般国道である。</p>																												
S45年度事業化	S44年度都市計画決定 (H8年度変更)	S48年度用地着手	S53年度工事着手																										
全体事業費	5,600億円	事業進捗率	70%	供用済延長	0.7 km																								
計画交通量	33,800 ~ 47,400台/日																												
費用対効果 分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">B/C</td> <td style="width: 10%;">(事業全体)</td> <td style="width: 10%;">1.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(残事業)</td> <td>9.0</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体)	1.8		(残事業)	9.0	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総費用</td> <td>(残事業)/ (事業全体)</td> </tr> <tr> <td>1,300/6,500億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>1,300/6,400億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>40/40億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/ (事業全体)	1,300/6,500億円		事業費	1,300/6,400億円	維持管理費	40/40億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総便益</td> <td>(残事業)/ (事業全体)</td> </tr> <tr> <td>11,660/11,660億円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>11,342/11,342億円</td> </tr> <tr> <td>走行費用減少便益</td> <td>270/270億円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>49/49億円</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/ (事業全体)	11,660/11,660億円		走行時間短縮便益	11,342/11,342億円	走行費用減少便益	270/270億円	交通事故減少便益	49/49億円	基準年	平成17年
B/C	(事業全体)	1.8																											
	(残事業)	9.0																											
総費用	(残事業)/ (事業全体)																												
1,300/6,500億円																													
事業費	1,300/6,400億円																												
維持管理費	40/40億円																												
総便益	(残事業)/ (事業全体)																												
11,660/11,660億円																													
走行時間短縮便益	11,342/11,342億円																												
走行費用減少便益	270/270億円																												
交通事故減少便益	49/49億円																												
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（現道の渋滞損失時間の削減が見込まれる） ・都市の再生（都市再生プロジェクト第二次(H13.8)に位置づけられている） ・国土・地域ネットワークの構築（各地への所要時間が短縮され、アクセス向上が図られる） ・地球環境の保全（CO2排出量の削減が見込まれる） <p style="text-align: right;">他17項目に該当</p>																												
関係する地方公共団体等の意見	<p>松戸市、市川市からは、市内の交通環境の早期改善のため、取得済み用地を有効に活用し、一般部（国道298号）を先行的に整備してほしいとの要望を受けている。</p>																												
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>松戸市、市川市内では、南北方向の交通渋滞が激しく、渋滞損失時間は千葉県平均の約3倍、また、生活道路における交通事故の発生率は、千葉県平均の約3倍と厳しい交通環境にある。</p>																												
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>用地交渉を現在促進中であり、用地が取得できたところから埋蔵文化財調査及び工事前搬入路、本体工事を実施している。また、環境保全空間のモデル道路の一部は、平成17年度完成予定である。</p>																												
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>用地取得率は、千葉県全体で約88%、市川市内に限っては約86%となっており、未取得用地が約450件残っている状況。うち、土地・建物の調査拒否により用地交渉に入れない方は70件となっている。そのため、半地下構造の専用部（掘割スリット構造）については、本体構造物の連続的な工事施工が困難となっており、一体構造である国道298号についても部分的に整備を進めている状況。今後は、専用部（高速道路）整備との整合を図り、平成20年代半ばの開通を目指して事業を推進していく。</p>																												
施設の構造や工法の変更等	<p>工事施工にあたっては、コスト縮減に資する工法や新技術の積極的活用などコスト縮減に努めるとともに工期短縮を図る。</p>																												

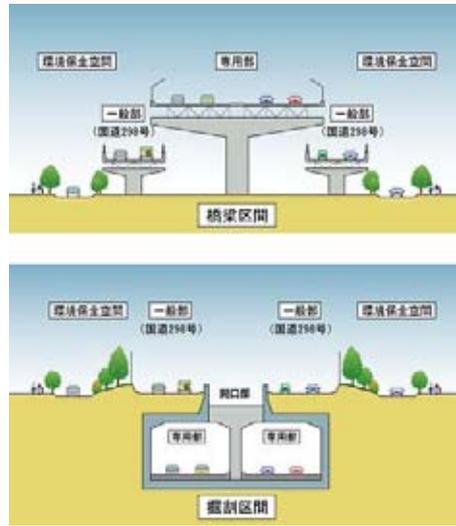
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すると、当初からの事業の必要性・重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

事業位置



標準横断図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。